一つ星

島定通信　第74号
令和元年７月25日
島原高校定時制教務
（職員・水田伊七章先生揮毫）

校長室より

青春時代こそ涙を流せ

校長　渡邉孝経

報道番組等で歯切れのいいコメントをされている中央大学の野村修也教授が、青春学園ドラマ「われら青春」の主題歌「帰らざる日のために」の中の『涙は心の汗だ』というフレーズ（～涙は心の汗だ　たっぷり流してみようよ　二度とは戻らない　今日のために～）が今も心の支えになっている、ということを番組の中で言っておられた。

我々の学生時代にはビデオも YouTube もなく、動画といえばテレビと映画だけだった。学校では前日のテレビ番組が話題になることも珍しくなく、１９６５～１９７０年代の青春学園ドラマ「青春とはなんだ」「これが青春」「飛び出せ青春」「われら青春」「おれは男だ」などは、主題歌をすらすら歌えるくらい観ていた。そして、その主題歌に影響されたこともあったし、その中の教師に憧れた者は多かったと思う。そういう私も、そのひとりである。

私が「涙」という言葉が入った曲で、頭にうかぶのは、ゆずの「栄光の架け橋」とファンキーモンキーベイビーズの「あとひとつ」である。

「栄光の架橋」（～誰にも見せない泪があった　人知れず流した泪があった～）この曲はアテネオリンピックの応援歌であるが、島原高校剣道部が初めて全国優勝をした時に流行っていた曲で、感慨深い。

「あとひとつ」（～あと一粒の泪でひと言の勇気で願いがかなうその時が来るって～）この曲は東日本大震災の後、楽天イーグルスが田中将大投手の活躍等もあって日本一になった時に宮城県民が球場で合唱した曲であり、私が仙台で講演・講習会を行ったときのメンタルトレーニングのモチベーションアップＤＶＤに使ったものでもある。そのＤＶＤを見ていた宮城県の人が「この曲は我々にとっては特別です」としんみりおっしゃったので心に残っている。

このように曲の中で歌われた「涙」はその時々の情景を思い起こしてくれるものである。

さて、青春といえば汗と涙を連想するのは我々世代だけではないだろう。青春時代の涙は、悔しさ、どうにもならない悲しみ、喜び、感動などなど原因はさまざまであるが、人間の成長には欠かせないものであると思う。本校の教育活動全てにおいて「喜びと感動」を求めている。青春真っ只中の諸君には、やはり「喜びと感動」の涙を流してほしい。

松下幸之助氏の座右の銘は、「青春とは心の若さである。希望と信念にあふれた勇気に満ちて、日に新たな活動を続ける限り、青春は永遠にその人のものである」であるそうだが、松下氏は一生涯が青春時代であり、こういう思いで過ごされ、偉大な経営者となられたのだと思う。

生徒はもちろん、大人も青春時代を懐かしむだけでなく、「今も青春」と思い込み頑張りたいものだ。

いじめ撲滅標語・ポスター優秀者

３年：馬場 亜稀　　３年：菅 祥子　　２年：山田 ひかる　　２年：山田 英寿　　１年：稲田　由翔

２年：山田 ひかる　その言葉　あなたは言われて　平気なの
１年：岩永 倫太郎　なに気ない　その言葉でも　傷つける
１年：松本 祐也　　やめようよ　見て見ぬふり　知らんぷり
３年：馬場 亜稀　　笑顔でも　心の中は　傷だらけ
３年：菅 祥子　　嫌な人？　良いとこ探し　始めよう

生活体験作文優秀者

６月１９日（水）２０日（木）、生徒生活体験作文を作成しました。生徒たちはみな、入学してから現在までの経験を振り返りながら、思い思いに作文を書きました。

また、３年生の馬場 亜稀さんが、本校の代表として９月29日に佐世保市で実施される、県定時制通信制生徒生活体験発表大会に出場します。

１年：松本 祐也
２年：山田 英寿
３年：馬場 亜稀
４年：柴原 果歩

薬物乱用防止講話

7月 11 日(木)　実施

講師：島原警察署 生活安全課　長崎県警察スクールサポーター
福田 貫二 様

・１回だけということがだめになるとわかった。
・周りの人からすすめられても、きちんと断らないといけない。
・薬物乱用はお金の無駄。
・自分の意志では絶対やめられないのだと感じた。

県定時制通信制体育大会

県定通大会が６月９日（日）に諫早高校・大村高校で開催されました。全力を尽くして競技する生徒の姿に、会場は大いに盛り上がり、どの生徒も健闘し、持てる力を存分に出し切ってくれました。

【バスケットボール男子】『 第３位 』

１回戦　28－20　諫早高校定時制
準決勝　21－53　佐世保中央昼間部

【卓球男子個人】
１回戦　狩野　１－３　佐世保中央昼間部

【卓球女子個人】
１回戦　馬場　０－３　佐世保中央昼間部
１回戦　山田　０－３　鳴滝通信

【バドミントン女子団体】
１回戦　０－３　佐世保中央昼間部

【バドミントン男子個人】
１回戦　福田　０－２　長崎工業定時制
２回戦　山田　０－２　佐世保中央昼間部

【バドミントン女子個人】
１回戦　薄田　０－２　佐世保中央昼間部
１回戦　柴原　０－２　こころ未来

球 技 大 会

７月１８日（木）に球技大会が開催されました。
種目はソフトバレーボールとバドミントン（シングルス・ダブルス）で、気温が高く大変暑い中でしたが、生徒たちは汗をいっぱいかきながら、存分に体を動かし、はつらつとプレーしていました。

優　勝

【バトミントン】

男子：本田竜也

女子：薄田美紀・堀川綾香ペア

【ソフトバレーボール】

男女混合：チーム尾崎

今後の予定

8/9　長崎原爆の日（平和学習登校日）
　　10：10　登校・SHR
　　11：10　SHR・下校

9/2　始業式・服装容儀指導
　　個人面談
9/3　ワークライフプランニング
9/4　車両点検
9/5　人生の達人セミナー・学年 PTA

お知らせ

① 夏季休業中は、職員の勤務形態が昼間になります。
学校にご用の際は、下記の時間帯にご連絡ください。
8:45～17:15　☎62－4155(7/22～8/30まで)

② 8/13～8/15の期間は学校閉庁日となります。
連絡が必要な方は、県教育庁高校教育課（095-894-3358）へ直接ご連絡ください。